

## 多様な武道等指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

<h3>柔道・なぎなた</h3> <p>日本固有の武道を複数経験することで競技及びそれに付随するものへの知識や考え方をより深く学ぶ授業の展開</p>	<p>いちき串木野市立串木野中学校（鹿児島県）</p> <p>電話番号 0996（32）1735</p> <p>メールアドレス kushikino-jhs@po12.synapse.ne.jp</p>
--	--

### ●実践研究のねらい

- 柔道に加え、競技特性がまったく異なるなぎなたを学習することで、武道の中でも様々な形があることを知り、礼儀作法などの競技に付随するものの中から共通することを見つけられるようにする。
- 柔道及びなぎなたの基本動作や基本となる技を学び、それぞれの武道の特性を理解させながら、武道に関する体力を高める。
- 外部指導者を活用し、より専門的な立場からの指導を受けることで、なぎなたへの理解を深め、興味・関心を高める。

### ●多様な武道の指導モデル 第3学年（2学級選択制 計39名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
種目		なぎなた		柔道						
学習の流れ	オリエンテーション (柔道・なぎなた)	準備運動・導入		準備運動・導入・基本動作と受け身の練習						
		基本動作・礼法 構えについて	打突等 対人的な動き	礼法 受け身につ いての着方	固め技				投げ技	

### ●指導の工夫

#### 1 効果的に指導するための工夫

- 映像等の資料の活用  
オリエンテーションで映像を活用し、事前にそれぞれの武道の特徴をつかませることで、競技に対する興味をもたせる。
- 複数指導者による指導  
複数の指導者による指導を行うことで、学習内容の理解を深めることをねらう。

#### 2 生徒の安全を確保するための工夫

- 安全な運動の行い方の理解  
どちらの競技においても、非日常的な動きや道具を使用するため、毎時間の授業の導入部分で安全な運動の行い方についての説明と、随時指導を行う。
- 複数指導者による指導  
指導者を複数にすることで、多くの生徒に細かな配慮ができるようにする。

## ●授業の様子



### 【 外部指導者の活用 】

派遣講師から、座礼や立礼などの礼法、なぎなたの説明、構えなどの知識に関する指導を行った。

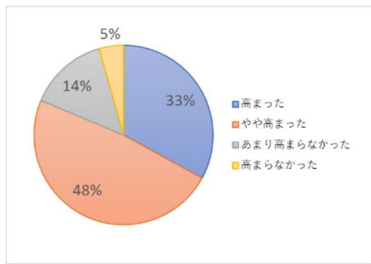


### 【 外部指導者の活用 】

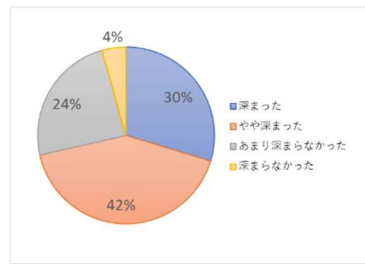
基本となる打突の習得のために、派遣講師の専門的な知識のもと、実際に行い、生徒にとって分かりやすい指導を行った。

## ●生徒の意識、感想、変容など

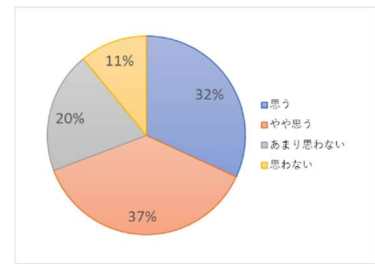
なぎなたを学んで、武道への興味・関心は高まりましたか？



なぎなたを学んだことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解が深まりましたか？



これからも多くの武道を学んでみたいと思いますか？



### <生徒の感想から>

- ・ 剣道に慣れていたのでやりにくかった。剣道と全然違った。
- ・ 伝統的な武道「なぎなた」がずっと残ってほしいと思いました。そのためには、若い人が受け継いでいかないといけないと思った。
- ・ 2時間では足りないくらい楽しかった。次は時間を増やしてやりたい。
- ・ 私も同じ武道の弓道をしているが、座り方や立ち方などが弓道とは異なっていて、同じ武道でも違いがあることが面白かった。
- ・ 他の武道も授業でやってみたい。
- ・ 同じ武道でも競技によってルールは違うけど、「礼に始まって礼に終わる」ところが同じで、いいなと思いました。
- ・ すべての動作が華麗で美しくてすごく感動しました。下手な私のなぎなたを何度も先生が直してくれたおかげで、楽しくできました。

## ●成果と課題

- 異なる武道における共通点や相違点を考えながら、意欲的に学習することができた。
- 2・3年生については、柔道で礼法を既習していたので、なぎなたでの礼法を学習する際にスムーズに学ぶことができた。
- 外部講師から、専門的な知識に加え、基本的な技能を学ぶことができた。
- なぎなたに関しては、継続して講師派遣依頼をしていくことで、より具体的に深めていくことができると考える。